

## 第18回放送番組審議会

### 1. 開催日時

平成30年5月11日 午後3時～4時30分

### 2. 開催場所

射水ケーブルネットワーク(株) 2階会議室

### 3. 出席委員(敬称略)

会長 寺井 幹男 (富山県立大学 理事長)  
副会長 岡本 孝平 (牧野地区公民館 館長)  
委員 宮城 澄男 (射水市社会福祉協議会 会長)  
委員 尾上 清逸 (下地区まちづくり地域振興会 会長)  
委員 中田 千津子 (堀岡保育園 園長)  
委員 北山 誠 (新湊信用金庫 常勤理事)  
委員 八嶋 祐太郎 (射水市文化振興財団 理事長)  
委員 岡部 宗光 (射水市体育協会 専務理事)  
委員 広田 郁世 (日本画家)

以上、9名が出席

### 欠席委員

委員 米本 進 (射水商工会議所 専務理事)  
委員 島田 公志 ((株)シマダ商事 代表取締役社長)

### 射水ケーブルネットワーク 出席者

牛塚松男(代表取締役社長)  
矢野 潤(執行役員制作部長)  
高山一登(執行役員管理部長)  
富田匡輔(制作課 課長)

### 4. 議題

- ・報告事項  
主催事業の説明
- ・審議事項  
コミチャン9 自主制作番組について  
自主放送番組編成について  
新番組について
- ・その他  
いみずVOD、電話リクエストについて

### 5. 審議で出された意見

#### ◆コミチャン9自主制作番組について

#### ▽番組名「いみずまるごと応援テレビ『いまテレ』」

- ・学校のそれぞれの学年の活動や取り組みを改めて知ることができた。内容もとても分かりやすく説明されていた。サクラマスを大門小学校、堀岡小学校のリレーで育て最後は食することで子供たちの感じる思いが伝わってきた。
- ・番組が始まった当初より、内容がよくなっている。園児からお年寄り、地域の活動、さらにはプロフェッショナルな事を取り上げているので、抵抗なく幅広い層で視聴されていると思う。

#### ▽番組名「射水市あったか家族応援標語」

- ・この番組は、子供たちの言葉を映像化することで子供たちにも伝わりやすくなっている。
- ・映像と一緒に標語の文字が表示されていると、標語の言葉がこの場面のことだということが分かるのではないかな。
- ・番組で「洗濯日和」と言っている。「洗濯日和」とは、洗濯物を外で干すには良い天気という事だが、番組では室内で干していた。この映像を見ると「洗濯日和」というのは、外で洗濯物を干すのではなく、室内で干すことと子供たちが勘違いするのではないかな。
- ・テンポが遅いので年配の方が台本を書いているのかなと思った。
- ・小杉小学校の杉っ子あったか劇団の演技がとても良い。

#### ◆その他 意見要望

- ・曳山中継などよく見ている。曳山が今どこにいるかすぐ分かるのでよい。
- ・「保育園幼稚園日記」や小学校、中学校の「入学式・卒業式」は、エリア内の園、学校をすべて取り上げている。このことが子供たちの地域意識につながり、射水ケーブルを認識してくれる効果大きい。
- ・園児の個人情報については園の方でも気を使っている。ホームページなどで写真を使用する際は、同意書を書いてもらっている。
- ・テレビ契約で「地上波＋コミチャン」が安価で見られることを知らないお年寄りが多いのもう少しPRや宣伝に工夫してはどうか。
- ・外国人や市外から来られた方にとっては射水の風景がとても良いらしい。外の方からの視点で何が面白がっているのかが案外ふるさと発見につながるのではないかな。このような方々を取り上げる番組制作も面白いのでは。
- ・ドローンも視点を変えるという意味では新しい見え方になる。庄川など空から見ると川の流れや形状の美しさが全く違う。飛行機ではなくもう少し低い視点から自分の地域を見るというのは新しい発見につながる。
- ・地震などの災害時、ケーブルではドローンで被災状況が放送されている、となると地域の方はケーブルを視聴されるのではないかな。
- ・家族とお年寄りが離れていても「無事にお年寄りが生活している」と分かるシステムを考えてほしい。
- ・地域の偉人・名誉市民を取り上げてほしい。その地域の方は知っていても他の地域へ行くと全く知らないということもあるので、偉人・名誉市民の番組を制作してほしい。